

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	馬込ここわ保育園
法人名	株式会社ディアローグ
法人所在地	東京都渋谷区渋谷3-8-1① 渋谷第一生命ビルディング7階

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【ことば】についての探究活動を実践し、非認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。

<テーマの設定理由>

当園は開園以来、外国人講師が週2日来園し、英語で子どもたちと接してきました。レッスンでは保育者も生徒として園児と一緒にレッスンを受け、園児に寄り添ってきました。このように当園では、英語が園児にとって身近な興味となっていることから英語のみならず、韓国語、マレー語など他言語や普段話している日本語も含めて「ことば」をテーマとして設定しました。



## ①. 活動スケジュール

【問いかけ】4歳児クラスでは、保育者がことばについて問いかけました。「私たちが話していることばは、何ということばか知っている?」「私たちが話していることばは、どんな人でも話していると思う?」「私たちが話していることば以外で聞いたことがあることばって何かある?」子どもたちは、「ステファニー先生は、英語しか話せないんだよ。日本語は話せないんだよ。」と、日本語と英語ということばがあることは知っているようです。

【流れ】英語講師の来園日には、英語絵本の読み聞かせなどを行い、保育者は子どもたちと一緒に参加します。また自由遊びの時間に保育者が日本語絵本の読み聞かせをする際、英語講師は子どもたちと一緒に参加します。このように、子どもも大人も一緒に英語と日本語ということばを共有します。

【探究活動の実践と記録】英語活動の際には保育者が記録し、日本語活動の際には保育者ととも英語講師も記録し、特に子どもが英語を発している際のことばや音の聞き分けを担当しました。

\*読み聞かせ：英語絵本は外国人英語講師が読み聞かせ、日本語絵本は保育者が読み聞かせます。

\*歌：英語の歌は外国人英語講師が歌を歌い、日本語の歌は保育者が歌います。

\*手遊び歌：英語の手遊びは外国人英語講師が英語で行い、日本の手遊び歌は保育者が行います。

【振り返りや共有】毎月月末に英語講師と職員のブリーフィングをおこなっているため、そこで探究活動の共有を行い、次月の問いを考え環境設定や探究活動のスケジュールを話し合います。保育者同士は職員会議で振り返りや共有を行います。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】英語講師の来園日に探究活動を行うよう環境を設定しました。

【素材】

\*同じ作者の日本語と英語の絵本：エリックカールの「げつようびはなにたべる」と"Today is Monday"

\*同じ手遊び歌の日本語バージョンと英語バージョン：「グーチョキパーでなにつくろう」と"Rock scissors paper finger play"

\*同じメロディの日本語の歌と英語の歌：「きらきらぼし」と"twinkle twinkle little star"



#### 4-①. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>①"Today is Monday(げつようびはなにたべる)"英語絵本の読み聞かせ

\* 4歳児クラス：英語講師が"Today is Monday(げつようびはなにたべる)"英語絵本の読み聞かせを行いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

講師が絵本を読み「hungry」と発音するとお腹を押さえジェスチャーをする子が多くいた。絵本の場面にいろいろな食べ物がでてくると、そのものを食べるジェスチャーをほとんどの子ども達がしていた。英語講師が"spaghetti","ice cream","chicken"と発音すると講師に続き発音する子がいた。また、チキンでは脇を動かし「にわとり」の動きをしていた。最後の場面で「come and eat it up」の言葉に「come・・・」と言えずにいたが、何回か繰り返し講師が発音すると少しずつ「come・and・・・・eat・it・up」と一つの単語の発音は言えるようになった。「yummy yummy」と講師が発音しながら食べる真似をすると子どもたちも一緒になり動きと「yummy yummy」楽しく行う姿がみられた。



#### 4-①. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>①「げつようびはなにたべる」日本語絵本の読み聞かせ

\* 4歳児クラス：保育者が「げつようびはなにたべる」日本語絵本の読み聞かせを行いました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

絵本を見ながら、子ども同士が会話を始めた。「なに食べる?」「お腹すいた」と場面が変わるたびに集中して見ていた。絵本に出てくる食べ物を一つひとつ言っていた。「さかな」という子もいれば、「fish」「フィッシュ」と発音をする、また「チキン」「chicken」と見る絵を英語の発音を交えながら言う子もいた。食べる音として水曜日に出てくる「ゾーーブ」の言葉に反応する子が多くいた。（「ZOOOOP」）

絵本に繰り返し「おなかがすいたこ、みんなおいで」のフレーズに子ども自身が食べ物になった気持ちになり、「嫌だー」「食べないで〜」と発言する子が多くいた。



#### 5-①. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】英語の絵本を先に読んだが、英語の単語を聞き一緒に発音をする子が多くいる。また、英語の意味もわかりジェスチャーをしたり、英語講師が繰り返し言葉を言うと自信なさげでも覚えて発音しようとする子がいて英語に対して興味を示している。日本語で絵本を読んでも、日本語と英語との両方で絵本に出てくる食べ物の名前を言い、また食べる音の「ゾーーブ」の言葉に反応していた。言葉の面白さがあるようだ。

英語での発音もしっかりできている。日本語と英語の2言語があることも、発音の違いも理解しているように思えた。

【次回への問い】絵本ではなく、素材を変えて例えば手遊び歌でも子どもたちは絵本のように違いを面白がることができるのだろうか？



#### 4-②. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>②「ぐーちょきぱーでなにつくろう」日本語で手遊び歌を歌う

\* 4歳児クラス：保育者が「ぐーちょきぱーでなにつくろう」日本語で手遊び歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

「グー・チョキ・パー」は、子ども達が良く知っている手遊びだった。始めると言う「ハイ！ハイ！」との反応あり。手を上げながら、子ども同士で何にするか相談する場面もあった。右手がチョッキで左手がグーだとアイスクリームやかたつむりを作り自分達で想像しながら楽しむ姿があった。またチョッキとパーにして「ラーメン」など食べる物に集中する場面もあり英語講師が食べる時にヤミーと言うと真似する子どももいた。

「ICECREAM」の発音は上手にできていた。



#### 4-②. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>②"Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

\* 4歳児クラス："Rock scissors paper finger play(ぐーちょきぱーでなにつくろう)"英語で手遊び歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

講師から「Rock、Scissors、Paper」を始めるとの合図でみんな手でグー・チョキ・パーをだし日本語で歌い始めた。日本語同様に右手がグーなど子ども達が言い始め講師もその言葉を受けながら始まり「Buttefly」では子ども達も一緒に発音していた。

「Helicopter」は発音がいいにくかったのか、「ヘリコプター」と日本語での言い方になっていた。



## 5-②. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】日本語「グーチョキパー」の手遊びは自分達で考えて行い、子どもならではの発想があり遊びの展開にもなった。英語では英語の発音を講師としながら手遊びを行う事ができ、子ども達からも「バタフライ」・「ヘリコプター」と発音は日本語だが、英語で答えていた。発音が難しいのもありもう一回と手で示す子どももいた。英語手遊びの場合だと自分たちで考えて行うよりは、英語の発音、英語のことばに、子どもたちの興味が向かったようだった。

【次回への問い】年度初めに習った"Twinkle twinkle little star"を日本語で歌うことで子どもたちはどのように反応するのだろうか？

## 4-③. 探究活動の実践（日本語）

<活動の内容>③「きらきらぼし」日本語で歌を歌う

\* 4歳児クラス：保育者が「きらきらぼし」日本語で歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

保育者がこの歌知ってる？と子ども達に聞くと「ティンクル」「Twinkle Twinkle Little Star」と歌い始めた。手振りなどは英語の歌詞と日本語の歌詞の違いがあるため同じではなく、子ども達は英語でおこなった手振りを覚えているのか日本語の歌の時も行う子どもがいた。日本語のきらきら星は歌い慣れているため、元気にうたう姿があった。



#### 4-③. 探究活動の実践（英語）

<活動の内容>③"Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

\* 4歳児クラス：英語講師が"Twinkle twinkle little star(きらきらぼし)"英語で歌を歌う

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

知っているリズムだったので、「Twinkle Twinkle Little Star」と英語講師と一緒に歌い手振りの真似をしながら、身体を動かし楽しんで行う姿があった。また、英語講師にも日本語で「この歌知っているよ」と話しかけて会話をはずませていた。英語講師が英語で言うと答える子もいた。手で☆を作り「Star」と子ども同志で見せていた。



#### 5-③. 振り返りと次回への問い

<振り返りによって得た先生の気づき>

【振り返り】日本語での歌詞はよく覚えていて大きな声で歌い、手遊びは英語の時にいった手遊びを覚え行う子が多くいた。英語ではリズムは知っているも英語での歌詞は覚えていない子が多くいて講師の発音を真似ながら言ってみたりジェスチャーを真似たりしていた。しかし「Twinkle Twinkle Little Star」は発音がしやすいのか発音も良かった。また英語がわからないからと言って集中が切れることもなく、自然に歌詞が難しいところはなんとなく歌い、自信のある"twinkle twinkle little star"ははっきりと発音するという切り替えが上手にできていた。

【次回への問い】子どもたちは日本語と英語の区別を保育者が考えているほどしていないことに気づいた。英語講師も週2回ほとんど終日園にいたので、英語を話す保育者と、子どもは見ている可能性がある。別の外国人英語講師が来園して、違う英語を話すことで子どもたちはどのような反応をするのだろうか？